



図書館だより



平成30年10月号 NO. 348
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
TEL 0293-42-1451

ありがとう、いつも味方でいてくれて

まれに、昔読んだ本の欠片？がフラッシュバックすることがある。「なぜ今、このタイミング？しかもこの本？この言葉？」というものが大半で、日常生活の中の前後左右、つながりも脈絡もないものばかりが、瞬く間に脳裏を駆けめぐる。予想もしていなかった方向から、異空間が突然投げ込まれたみたいに。

人によっては、過去に経験した出来事や、以前見聞きした映像や音楽、誰かからかけられた印象深い言葉などがそれに当たるかもしれないが、私の場合、たいてい本が水源となる。

思い出す、とはちがう。ふってくる、というわけでもない。いくなれば雷のようなもので、自分の意思などまったく関係なく、本当に突然、かつて読んだ文章の一部が、言葉の断片が、電光石火のごとくひらめく。

それは、短歌の下の句であったり、古典の流暢な節回しであったり、詩の導入部分であったり、対談集の中の一コマであったりする。登場人物の心象描写や小気味よいセリフであることもあるし、本当に冴えているときなんかは、高校時代に通い詰めた図書室の、西日の差し込み具合まで鮮明によみがえったりもする。

フラッシュバックして、だからどうだというわけでもないのだが、突然それがくると、いつも、「君たちどこにいたの？」と思う。心の奥深く、自分でも忘れてしまっていた記憶の底の方で、気配もなく潜んでいたの？隠れていたの？なーんて、センチメンタルモード。

残念なことに、かつて読んだ本の欠片がフラッシュバックしても、それがヒーローになることはあまりない。日々は常に流れているし、颯爽と現実を救ってくれるなんて、都合のいいことは皆無だ。

けれど、たぶんそれは、読書効果として提唱されている教養とか見識の形成とか、語彙力とか視野の広がり以前に、目には見えないけれど、いつ役に立つかわからないけれど、我知らずどこかに吸収されて、背骨なんかを伸ばしてくれているのだろうと思う。

なので、まあ、めったにあるわけではないけれど、次のフラッシュバックが起きたとき、もし覚えていたら、胸に手を当てて、心の中でこうつぶやいてみよう。

ありがとう、いつも味方でいてくれて。

by ミカゲ



《 図書館カレンダー 》



★ 開館時間 午前9時30分～午後6時 ★

印は、休館日です。★

2018年 10月

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

★ YABOOK ご紹介 ★

「翔ぶ少女」

一般書 913.6Y 原田 マハ // 著 ポプラ社

サーモンピンクの可愛らしい表紙につられて読み始めたら・・・なんと震災の話。悲しい話は苦手だな。と思いつつ、そのまま一気に読みました。

この本には、阪神・淡路大震災で両親を亡くした兄妹と妻を亡くした心療内科の医師が家族となって成長していく心温まる物語が書かれています。

震災がテーマですが、ただの悲しい物語ではありません。ファンタジー要素も加わり、小中学生にとって、とても読み応えのある一冊です。

主人公のニキ、兄のイッキ、妹のサンク。なんとも愛らしい名前で、それでいて神戸弁。言葉が、優しく、柔らかく響きます。人と人との繋がり、生きていく意味、親子の絆、改めて震災について考えさせられ、戒めとなりました。

『大切な人を二度と失いたくない』少女の強く切なる祈りが、やさしい奇蹟を起こします。

優しさ溢れる素敵な物語を、秋の読書週間におすすめします！



by キキ

トム・ソーヤ通信 No.338

★ 毎月、職員が新刊の中から
お薦めの本を紹介しています。★

◇ この空のかなた ◇

一般書 440ス 須藤 靖 // 著 亜紀書房

夜空のかなたに広がる宇宙。その広大さと138億年という歴史に魅了された多くの科学者たち。探求と苦悩の先に浮かび上がったものはあまりにも美しく輝く世界でした。この本は、難しい物理の話はさておき、そんな美しく輝く天体の写真を鑑賞しながら、宇宙の進化という神秘的な旅にご案内してくれます。星のかけらでできている私たち…生命誕生の不思議にもわくわくさせられます！

☆米国の惑星科学者カール・セーガン著「COSMOS」の紹介があり「星のこども」とかさねておすすめです(^)/ (どちらも児童書)



by リリー

◇ フタバスキリュウもうひとつの物語 ◇

一般書 457サY 佐藤 たまき // 著 フックマン社

1968年、いわき市にある大久川沿いの崖から、一人の高校生によって首長竜の化石が発見されました。地層と発見者の名前から「フタバスキリュウ」と名付けられました。

1970年代半ばの東京、ひとりの女の子が恐竜図鑑に夢中になっていました。彼女は古生物学者になることを目指し大学に進学、アメリカやカナダへの留学を経て博士号を取得しました。そして、あこがれの「フタバスキリュウ」の研究に参加することになります。そして…。

☆恐竜好きの方にお薦めの一冊です。

by みーやん



◇ コミュニティバス図鑑 ◇

児童書 537コ スタジオタッククリエイティブ



この本には、関東地方の市町村で運行されているコミュニティバスが224台紹介されています。可愛いご当地キャラクターが描かれていたりして、地域ごとに特色があります。コミュニティバスに乗るために、その地域にお出掛けしてみるのも良いかもしれません。

☆北茨城市巡回バスも写真入りで紹介されています。

by みーやん

◇ あきぞらさんぽ ◇

児童書 Eアキ 江頭 路子 // 著 講談社

お気に入りのセーターと上着をはおって、かばんをかけて、小さな女の子がお散歩に出かけます。どんぐり、みのむし、キレイな落ち葉やとんぼ・・・。季節の贈り物がたくさん！

秋の素敵な風景が描かれていて、小さな秋を見つけにお散歩に出かけたくくなります。

“おさんぽ”シリーズとして「はるかぜさんぽ」「あめふりさんぽ」「さんさんさんぽ」「ゆきみちさんぽ」もぜひ♪

by オレンジ



◇ 旅の絵本 9 ◇

児童書 Eタビ 安野 光雅 // 作 福音館書店



1986年に出版された「旅の絵本 1」から32年、旅の絵本の9冊目が出版されました。今回はスイス編です。この絵本は、青い服の男が、世界各国、中部ヨーロッパからはじまり、イタリア、イギリス、アメリカ、スペイン、デンマーク、中国、日本を旅する様子が描かれていて、文字はありません。

風景の中に旅する男を見つけながら、ページを進めていきましょう。

「どこにいるかな？」作者の安野さんは1926年生まれですから、90歳を超えています。自分自身が旅をして、その先でスケッチを続けた作者と青い服の男の姿が重なります。

by ビクトリア

◇ ヒョウのハチ ◇

児童書 Eヒョ 門田 隆将 // ぶん 松茂 真理子 // え 小学館

太平洋戦争の頃、中国で日本兵に助けられた野生の赤ちゃんヒョウ。ハチと名付けられ兵士たちに育てられました。しかし、戦争で一緒にいることが難しくなりハチは日本の上野動物園に引き取られました。ところが戦争の激化によりハチは…。

戦争の悲惨さと平和の大切さ。そして、動物と人間の絆を伝えた実話です。今ハチはどこにいると思いますか？

by ドラ



「図書館まつり」を行います！

★ 10月28日(日) 午前9時30分 ~ 午後4時 ★

【リサイクル本市】 * 寄贈本や除籍本などを、1人10冊まで無料で差し上げます。本を入れる袋等は持参してください。

【一日図書館員】 * 市内の小学生が、図書館の仕事を体験します。

【ブックコート】 * お気に入りの本にカバーをおかけします。カバーをかけたい本を持参してください。※ 先着20人、1人1冊です。

【クイズコーナー】 * 図書館の本を使って答えを探してください。全問正解すると景品がもらえます。

【手作りカードコーナー】 * 小さなお子さんも参加できます。

★ ほかにも、「ぽっぽのおはなし会」「エフロンヒロ子さんのエフロンシアター」「メリアンさんの英語のおはなし会」があります。



県立磯原郷英高校交流事業

★ 書道部パフォーマンス ★

10月7日(日) 午後1時30分 ~ 図書館玄関前(雨天時:市民ふれあいセンター)

★ JRC部ハンドベル演奏会 ★

10月26日(金) 午後4時 ~ 図書館1階

★ 図書委員会推薦図書展示 ★

10月12日(金) ~ 11月8日(木) 図書館2階展示コーナー

おはなし会のお知らせ

★ 図書館おはなし会 ★

10月3日(水)、17日(水)

午前10時 ~ 10時30分

★ メリアンさんの英語のおはなし会 ★

10月10日(水)、27日(土)

午前10時 ~ 10時30分

★ エフロンシアター ★

10月13日(土) 午前10時 ~ 10時30分

★ ぽっぽのおはなし会 ★

10月24日(水) 午前10時 ~ 11時

☆ 参加自由・無料です。場所は、1階おはなし室です。☆

